

# ヤンマーが創業100周年記念大会を開催 次の100年に向け持続可能な社会実現に貢献

ヤンマー株式会社（本社・大阪市、山岡健人社長）は1月24日、神戸ポートピアホテルで「ヤンマー創業100周年記念大会」を開催した。

来賓を含む約2,500名の出席者を前に、開会あいさつした山岡健人社長は「我々は次の100年に向け「食料生産」と「エネルギー変換」という人々が生きていく上で重要な事業領域にて、お客様からの多種多様なご要望に応え、価値あるソリューション提供を追及する。これからも世界の人々のため、未来の子供達のため、持続可能な社会の実現に貢献していく。ヤンマーグループは新しいミッションステートメントのもと、次の100年を皆様と共に歩み、共に成長して参りたい。これからも顧客にベストなソリューションを提供する」と抱負を述べた。

開会あいさつに続いて、同社グループの「新ミッションステートメント」を発表し、自らの事業領

域を明確に定め、当該事業分野において同社グループの強みである「Solutioneering」を市場へ積極的に提案していくことを宣言した。

大会の最後にはブランドステートメントである「Solutioneering Together」を題した歌も披露された。

同社は1912年3月、ガス発動機と吸入式ガス発動機の据え付け・販売・サービスを行う「山岡発動機工作所」として創業し、2002年に現在の社名に変更した。その後2003年3月にエネルギーシステム事業を担う「ヤンマーエネルギーシステム株式会社」が分社化されるなどして、現在に至っている。



開会あいさつする山岡健人社長